

平成 18 年 8 月 3 日

報道関係者各位

株式会社 ピクセラ  
( 東証一部 6 7 3 1 )

## ピクセラ、ワンセグと 1 / 3 セグメントデジタルラジオに対応する 携帯電話向けシリコンチューナーモジュールを出荷開始へ

株式会社ピクセラ（代表取締役社長 藤岡 浩）は、ワンセグと 1/3 セグメントデジタルラジオに対応する携帯電話向け超小型・超低消費電力の日本国内専用シリコンチューナーモジュール「TDJ1200SX」を子会社の RfStream 社で開発、今秋からサンプル出荷を開始いたします。

今回、RfStream 社が開発した「TDJ1200SX」は、携帯電話への搭載を主な用途としたシリコンチューナーモジュールです。地上デジタル放送のうち、ワンセグと 1/3 セグメントデジタルラジオに対応を限定することにより、OFDM 復調部を内蔵しながら、超小型・超低消費電力を実現しました。外形寸法は、10.0 mm x 10.0 mm x 1.4 mm および 12.0 mm x 12.0 mm x 1.4 mm の 2 サイズを用意、消費電力は、1 セグメント放送（ワンセグ、ラジオ）受信時 90mW、3 セグメント放送（ラジオ）受信時 95mW です。

2006 年 4 月からワンセグの本放送が開始されたことにより、ワンセグ視聴が可能なモバイル端末のマーケットが急成長をするなか、モバイル端末に対する要求は、より長時間の視聴ができる省電力性能、多様な電波環境下で受信できる性能が求められています。一般的に、これらの要求は相反するものですが、RfStream 社独自の LC Bank Filter 技術（※）のさらなる最適化を図ることにより、「TDJ1200SX」は、これらの要求に応える業界トップレベルの省電力性能と受信性能を確保する高い耐妨害波特性を両立しています。

「TDJ1200SX」は、モジュールとしてのサンプル出荷を 2006 年 10 月から開始する予定です。

また、モバイル端末の設計自由度を確保するため、チューナー IC 単品（消費電力 75mW）での販売も検討しています。

※LC Bank Filter 技術は、低消費電力で周波数選択（チューニング）を実現するための RfStream 社独自の技術です。カンチューナーでは、バラクタ素子に高電圧をかけることにより周波数選択を行なっていますが、「TDJ1200SX」では、IC 上での容量の異なる複数のインダクタ（L）とコンデンサ（C）を RfStream 社独自の切り替えと組み合わせにより、低消費電力での周波数選択を実現します。

### RfStream 社について

RfStream 社（株式会社 RfStream、代表取締役 栗原 良和）は、半導体集積回路の設計およびソフトウェアの開発設計などを目的として 2004 年 3 月に設立された、ピクセラ、富士通、日立メディアエレクトロニクス、エフエム東京他による共同出資会社（2006 年 3 月にピクセラの連結子会社化）です。汎用デジタル/アナログ両対応シリコンチューナー「TW-1000 シリーズ」を製品化、さらに小型・省電力化した携帯電話向けデジタル/アナログ両対応シリコンチューナー「TW-2000 シリーズ」を開発中です。

以上